

【聖隷こども園めぐみ 2023年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

子どもを集団として見るのではなく、一人ひとりへの個別的な関りや子どもの自主性を常に意識し教育保育活動を進めている。

保護者に対してもドキュメンテーションや ICT を活用し、保育の可視化に努めている。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

一人ひとりの子どもに合わせた声掛けや見守りがなされていた。子どもの言動からどのような関わりが必要か担任間で共有し、環境を整えたり実際の保育に活かされていた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

個人情報に関わるものは目につくところには見当たらない。職員の言動からも伺うことはなかった

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

必要に応じて園長、主幹が対応するなど適切な対応がされている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

職員間で情報共有している。内容に応じては給食業者とも連携し、対応している。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

計画的に訓練を実施し、周辺他施設とも連携している。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

日々の点検等での気づきや発見は状況に応じて園長、主幹に報告し、速やかに対処している

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

事務所前の図書コーナーやカウンター付近はオブジェ等の飾があり、入館した際、家庭的な落ち着いた雰囲気が感じられた。保育室内も季節を感じる自然物や絵本等が見られた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

保育室は子どもの発達や興味、関心に応じたコーナーが配置されていたり、生活の動線を配慮して環境構成がなされている。子どもの姿に合わせて都度、担任間で話し合い、工夫しているようだ。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3歳児

- ・保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

1, 2 歳児クラスはそれぞれ複数のクラスで保育しているため、他クラスとも保育目標の共有や連携が必要だと感じる。互いが見合い刺激しあえるよいと思う。

【全体を通して】

コメント

豊かな自然に囲まれ、他の福祉施設とも隣接されている環境で SDGS の観点からとても恵まれていると感じた。その環境を強みに保育に積極的に取り入れ、乳児期からの心身の育ちに繋がられている。

開設 7 年目を迎え、保育経験の浅い職員が多い中ではあるが主幹保育教諭を中心に若手の副主幹もそれぞれの役割を意識し、前向きに園全体の運営に携わっている様子がかがえた。また、産休育休、時短勤務中の職員が多く、次年度以降も職員の理解と協力体制のもと運営体制を整え、働きを支えていく必要がある。

評価日 2024 年 1 月 17 日

評価者 園 名 市野与進こども園

役 職 園長

氏 名 鈴木 勝子